

農業保存食料品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	製品を箱詰めし台車に乗せる作業中、所定の位置に台車を設置し、自分も所定の位置につこうとして台車を跨いだところ、台車につまずき転倒し、左足を捻り被災した。	58～99	50
1	17～18	仕事を終え駐車場に向かっている際、凍った路面に足を滑らせ、転倒し被災した。	59～499	300
1	17～18	工場内を他の従業員と話しながら歩いていたところ、足元にあったパレットに気付かず、足を引っ掛け転倒してしまった。	52～49	30
1	9～10	計量作業を終え、コンピュータースケール（計量機）から階段で下において歩き始めた時、床に落ちていた廃棄原料（スライスされた赤かぶ漬）を踏んでしまい、滑って転倒し、左足首を強打した。	57～49	30
1	15～16	当事業所梅倉庫内で梅干し10kg樽の移動作業中、手は空の状態バランスを崩し足を滑らせてしまい（床には障害物なし）、体を支えるために右手を床に突っ張ったため、右手の手首を負傷した。	21～49	30
1	14～15	工場内の凍結庫内で、台車にのっているパンに入っている里芋を、台車から降ろそうとした時、足を横に滑らせて右手を床につき、右手首を痛めた。当初はすぐに良くなると思っていたが、痛みがひかなかった。	39～29	10
1	15～16	工場内原料加工室でカボチャの裏ごし作業中に、器具の洗浄のため洗い場に移動しようとした際に、濡れていたエプロンの裾が長靴に張り付いていたため、踏み出し	60～	10

		でつまずき転倒した。		29
1	10~ 11	トイレ休憩から自分の持ち場へ戻るため、工場内の高菜ラインに歩いて移動中、床が濡れていて滑りやすくなっていたのに気付かず、右足を滑らせてしまい、尻を打撲した。	46	~ 99
2	8~9	当社工場内作業場で、製品のなめこを袋に入れるために、袋を取りに行こうとして、なめこの入っている桶の把手についている紐に左足が引っ掛かり、転倒し左足首にひびが入った。	65	~ 29
2	8~9	出勤後、当社工場駐車場に車を停めて、事務所向かって歩いていたところ、躓いて転倒し手をついた際に右環指を負傷した。	38	—
2	7~8	歩行中に、床についている高さ7、8cm位のパイプに躓いて前に倒れた時に、左膝を床にぶつけ負傷したものである。	59	~ 49
2	11~12	会社敷地内にて、芋の搬入作業中、パレットを取りに行ったところ、コンクリート地面に2~3cm程の隆起があり足が躓いた。そのまま前方向に倒れ、両手を地面につき左掌を負傷した。	53	~ 29
4	10~ 11	漬物の製造および漬け込み作業をしていた際に、大ザルを洗浄しに行こうと体の向きを変えた所後ろに置いてあった水の入ったポリダル（高さ7cm程度）に体がぶつかり、バランスを崩し、足を滑らせて転倒した。その後、右腕に激痛が走り、起き上がることが出来なかった。	61	~ 99
4	11~ 12	本社工場包装室にて歩いていたところ、床で滑り前方へ転倒し、足首を捻り骨折した。	59	~ 299
4	15~ 16	村道にて竹林搬出道路伐採作業中に、台風通過後の竹が倒れ、乱れた環境で竹が村道に倒れ乱れており、笹の葉が腐葉土となり足場が不安定だった。台風通過後で村道に竹が倒れている状況で、村道に倒れている竹を伐採中に背後から別作業者の車が通過した際に、伐採した竹を踏む音に驚き、振り向いた時によろめき倒れ、右手首をついて骨折した。	77	1~ 9

5	16~ 17	漬物製造室で漬物の袋詰作業中、選別されラインからはじかれた袋詰を回収するため、左手側検査場所方向に歩を進めたところ、右足が足マット（ウレタン製畳1/6サイズ、厚さ3cm防寒疲労軽減用）に躓き引っ掛かり、バランスを崩し両ひざをつき転倒した。その際に左足を不規則について捻じたため、その衝撃で左足足首（くるぶしの上）を骨折した。	63	10 ~ 29
5	11~ 12	工場より外へ容器バットを運ぶ際、足洗バットに躓き転倒し、正面の階段の縁で頭部を打撲した。	66	10 ~ 29
6	3~4	冷凍工場内において、清掃及び翌日準備のため、3名にて作業していたが、終了したので工場内の電灯を他2名に消灯する旨を確認後、消灯したところ、被災者が暗い場所におり、その中で移動したために床に置いてあった鉄製リング（高さ10cm程度）に躓き、膝をついた際に鉄製リングに強打し負傷してしまった。	49	300 ~ 499
6	15~ 16	当社工場内3号包装機（ペースト製造）において、作業終了後、商品を持って金属探知機の確認を行い、その商品のセイロの所に移動中、ラック取手を跨ぎ（約30cmの高さ）、その際につま先が引っ掛かり転倒した。手に商品を持っていた為そちらをかばい、手の平を床に打った。商品（縦25.7cm、横18.2cm、1個1kg）	59	100 ~ 299
6	16~ 17	見学者用通路内倉庫の整理整頓中に物を運んでいた際、足元の水に気付かずに踏んでしまい滑った。	59	100 ~ 299
6	16~ 17	乾燥工場の乾燥室乾燥台E台、F台の間で、振りかえった際に床で足を滑らせ転倒した。転倒の際、左手を床についたため左手を怪我した。転倒時、床は水で濡れていて、水分を含んだケールカスが散らばっており、靴裏にもカスがついていたことから滑りやすい状態になっていた。	65	100 ~ 299
7	11~12	消毒用の塩素を補充するため空のバケツを持って加工場内を歩行している時、床に出ているアンカーにつまずいて転倒し、左ひざを負傷した。	58	30 ~ 49
7	17~	工場内を歩行中、野菜くずを踏み、滑って転倒した際に左手首を負傷した。	32	50 ~

	18			99
9	15～ 16	工場内に入るため、エアーシャワーを出て足洗い槽にて長靴を洗浄し、槽から出る際に槽の縁に躓き転倒し、右肩を強打した。	66	10 ～ 29
9	11～ 12	会社所有の畑で、高菜の廃棄作業をしていた際につまずいて左足をひねり、左足甲から指先を骨折した。	61	30 ～ 49
9	14～ 15	工場内で、釜から10kgの材料が入ったダンボールを冷却装置に運び、空のダンボールを持って、再び釜のところへ行く作業を繰り返し行っており、空のダンボールを3つ抱えて釜のところへ戻る際、通路上にあったコンテナにつまずき、前方に転倒し、右半身から床に落ち負傷した。	50	10 ～ 29
10	17～ 18	被災者は退社時間になったので、帰宅準備のため、工場建物内の作業場所から手洗い場を通り、ロッカールームに向かって歩いていた。手洗い場とロッカールームの間には、エントランス空間があり、引き戸で仕切られている。手洗い場を通り、引き戸を左手で開け、エントランス空間に出ようとしたところ、引き戸の下、5ミリ程の高さのレールに、右足のつま先を引っ掛け、前のめりに転倒。顔面と左手首をコンクリートの床にぶつけて負傷した。負傷直後は痛みをさほど意識していなく、大丈夫だと思ったが、帰宅後、しばらくして腫れと痛みが出た。	72	50 ～ 99
10	20～ 21	工場内包装ラインエリアにて、歩行中に足が滑り、転倒した際に左腕を床につき、左橈骨を骨折してしまった。包装作業が終わり水かき清掃をする前の出来事で床が濡れていて滑りやすかった。	66	100 ～ 299
10	15～ 16	みかんの選果作業中に、コンテナを移動しようとした時、体勢を崩し地面に転倒した。	71	10 ～ 29
10	9～ 10	高菜の手洗い洗浄作業中に気分が悪くなり持ち場を離れようとしたが、意識を失い転倒。顔面を床に強打し、右頬を骨折した。	22	100 ～ 299

11	8~9	前日の雪のため出勤時に現場敷地内の駐車場で滑り後ろへ転倒し、左肘を骨折した。	43	10 ~ 29
11	9~10	第一工場エレベーター前にて搬送作業中、ブルーベリーの入った箱を積んだパレットを自動搬送機に載せた後、下部分の箱が潰れて荷崩れを起こしていた。それをガイドに合わせる為、装置下の鉄枠とローラーに足をかけ手直ししようとした。その際にバランスを崩して転倒し右手を床につき、負傷した。その後、手首に痛みがあった為、湿布をして経過を見ていたが、症状が改善されなかったため、病院で受診した。	52	100 ~ 299
11	18~19	屋外にある洗浄用の水槽をスプレーガンを使用し清掃作業中、他の作業者に協力を依頼されたため水槽そばを移動したことから水道ホースに躓き転倒し、右膝を地面で強打した。	67	100 ~ 299
11	16~17	高さ約110cmのタンクの清掃を行おうと、設置している階段（下から1段目か2段目）を踏み外し、右胸を階段の縁で打った。	72	30 ~ 49
11	15~16	事業場内の加工室でほうれん草を投入する作業をしようとした際、側溝の蓋が外してあることに気付かず側溝に足が入り、バランスを崩して手をついてしまい右手人差し指を負傷した。当日はそのまま勤務したが、痛みがひかず翌日受診した。	63	30 ~ 49
12	19~20	冷凍食品部凍結工程Aラインから管理室に戻るためフリーザー横の階段を降下中に足を滑らせ転倒し、右脇腹辺りを強打し負傷した。	62	100 ~ 299
12	7~8	駐車場のアスファルトが凍結していた為、車から下りた際に足を滑らせた。その時に手をついて手首を負傷した。	71	10 ~ 29
12	9~10	包装室内にて、添加液を入れたビーカーを持って移動中、取り除き漏れた野菜片が床にあったが、気付かずに踏んでしまい、滑って転倒し負傷した。	41	100 ~ 299

12	8~9	朝、自転車で工場に到着後、敷地内にある駐輪スペースで、自転車から降りて玄関 に向かう途中、同じ駐車場スペースで躓いて転び、膝をコンクリートで強打して膝 蓋骨を骨折した。	30 ~ 49
----	-----	--	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html